
業績ハイライト

— 平成28年3月期第2四半期決算について —



目 次

1. 損益の状況	…	1
2. 自己資本比率の状況	…	3
3. 貸出金の状況	…	4
4. 預金の状況	…	5
5. 預かり資産の状況	…	6
6. 有価証券の状況	…	7
7. 金融再生法開示債権の状況	…	8
8. 経営指標	…	10
9. 平成28年 3月期 業績予想及び配当方針	…	10

1. 損益の状況

① じもとホールディングス連結

(単位:百万円、%)

	26年9月期	27年9月期	27年3月期		
			前年同期比	増減率	
連結経常収益	21,242	21,889	647	3.0	42,755 (参考)
連結経常利益	3,441	3,258	△ 183	△ 5.3	6,751
親会社株主に帰属する 中間純利益	3,450	3,293	△ 156	△ 4.5	5,986

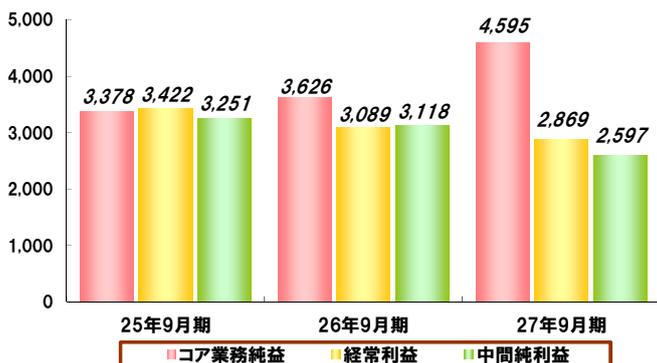
- じもとホールディングスの連結経常収益は218億89百万円、連結経常利益は32億58百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は32億93百万円となりました。

② 2行合算

(単位:百万円、%)

	26年9月期	27年9月期	27年3月期		
			前年同期比	増減率	
経常収益	20,772	21,185	412	1.9	42,213
業務粗利益	16,061	17,205	1,143	7.1	34,889
資金利益	15,072	16,284	1,211	8.0	30,678
役務取引等利益	1,297	1,204	△ 92	△ 7.1	3,120
その他業務利益	△ 308	△ 284	24	-	1,090
うち国債等債券損益	△ 315	△ 292	23	-	1,077
経費(除く臨時処理分)	12,751	12,902	151	1.1	25,290
うち人件費	6,353	6,537	183	2.8	12,751
うち物件費	5,634	5,420	△ 213	△ 3.7	10,946
業務純益(一般貸倒繰入前)	3,310	4,303	992	29.9	9,598
コア業務純益	3,626	4,595	969	26.7	8,521
一般貸倒引当金繰入額	△ 210	△ 647	△ 436	-	△ 611
業務純益	3,521	4,950	1,428	40.5	10,210
臨時損益	△ 432	△ 2,081	△ 1,648	-	△ 3,590
うち不良債権処理額	686	2,004	1,317	191.9	2,487
うち個別貸倒引当金繰入額	481	1,755	1,274	264.6	1,930
うち貸倒引当金戻入益	776	-	△ 776	△ 100.0	-
うち株式等関係損益	31	349	317	1,001.9	391
経常利益	3,089	2,869	△ 220	△ 7.1	6,620
特別損益	△ 0	△ 176	△ 175	-	△ 56
中間純利益	3,118	2,597	△ 520	△ 16.7	5,713
与信関係費用	△ 352	1,349	1,701	-	1,820

(単位:百万円)



- 2行合算の経常収益は、前年同期比4億12百万円増加の211億85百万円(増減率1.9%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が増加したことや物件費の削減に努めたことにより、前年同期比9億69百万円増加の45億95百万円(増減率26.7%)となりました。
- 経常利益は前年同期比2億20百万円減少の28億69百万円、中間純利益は前年同期比5億20百万円減少の25億97百万円となりました。

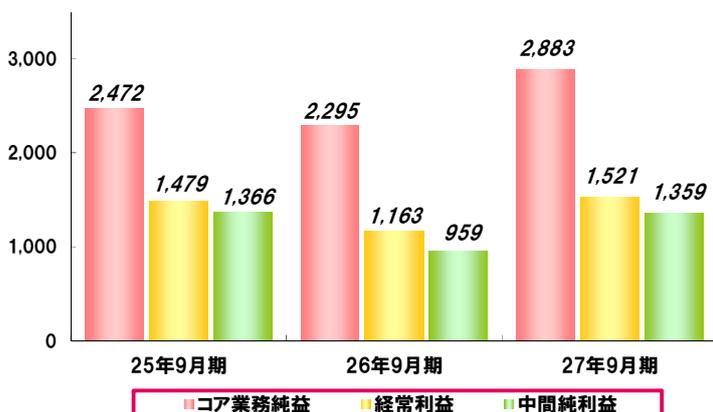
1. 損益の状況

③ きらやか銀行単体

(単位:百万円、%)

	26年9月期	27年9月期	27年3月期		
			前年同期比	増減率	
経常収益	12,196	12,675	478	3.9	25,728
業務粗利益	9,721	10,534	813	8.3	21,096
資金利益	9,204	10,041	836	9.0	18,876
役員取引等利益	640	595	△ 44	△ 6.9	1,614
その他業務利益	△ 123	△ 101	21	-	606
うち国債等債券損益	△ 128	△ 107	21	-	597
経費(除く臨時処理分)	7,553	7,757	203	2.6	14,967
うち人件費	3,919	4,050	130	3.3	7,918
うち物件費	3,199	3,130	△ 69	△ 2.1	6,152
業務純益(一般貸倒繰入前)	2,167	2,776	609	28.1	6,128
コア業務純益	2,295	2,883	588	25.6	5,531
一般貸倒引当金繰入額	△ 210	238	449	-	△ 87
業務純益	2,378	2,538	160	6.7	6,216
臨時損益	△ 1,214	△ 1,016	198	-	△ 2,823
うち不良債権処理額	610	586	△ 23	△ 3.8	1,591
うち個別貸倒引当金繰入額	481	465	△ 16	△ 3.3	1,307
うち株式等関係損益	3	△ 3	△ 6	△ 204.0	165
経常利益	1,163	1,521	358	30.8	3,392
特別損益	△ 3	△ 193	△ 189	-	△ 17
中間純利益	959	1,359	400	41.7	2,337
与信関係費用	396	820	423	106.9	1,567

(単位:百万円)

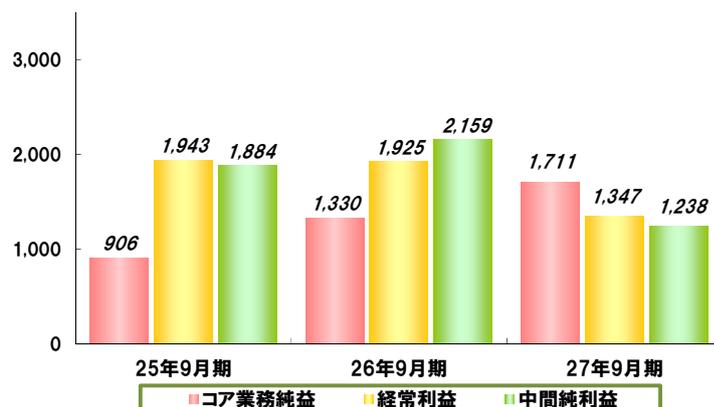


④ 仙台銀行単体

(単位:百万円、%)

	26年9月期	27年9月期	27年3月期		
			前年同期比	増減率	
経常収益	8,576	8,509	△ 66	△ 0.7	16,485
業務粗利益	6,340	6,670	329	5.2	13,792
資金利益	5,868	6,243	375	6.3	11,802
役員取引等利益	657	609	△ 48	△ 7.3	1,506
その他業務利益	△ 185	△ 182	2	-	484
うち国債等債券損益	△ 187	△ 185	2	-	480
経費(除く臨時処理分)	5,197	5,144	△ 52	△ 1.0	10,322
うち人件費	2,433	2,486	52	2.1	4,833
うち物件費	2,434	2,290	△ 143	△ 5.9	4,794
業務純益(一般貸倒繰入前)	1,143	1,526	382	33.4	3,469
コア業務純益	1,330	1,711	380	28.6	2,989
一般貸倒引当金繰入額	-	△ 885	△ 885	-	△ 524
業務純益	1,143	2,411	1,268	110.9	3,994
臨時損益	782	△ 1,064	△ 1,847	△ 236.0	△ 766
うち不良債権処理額	76	1,417	1,341	1,761.1	828
うち個別貸倒引当金繰入額	-	1,290	1,290	-	623
うち貸倒引当金戻入益	776	-	△ 776	△ 100.0	-
うち株式等関係損益	28	352	324	1,144.6	226
経常利益	1,925	1,347	△ 578	△ 30.0	3,228
特別損益	3	17	14	449.6	△ 38
中間純利益	2,159	1,238	△ 921	△ 42.6	3,376
与信関係費用	△ 748	529	1,278	-	252

(単位:百万円)

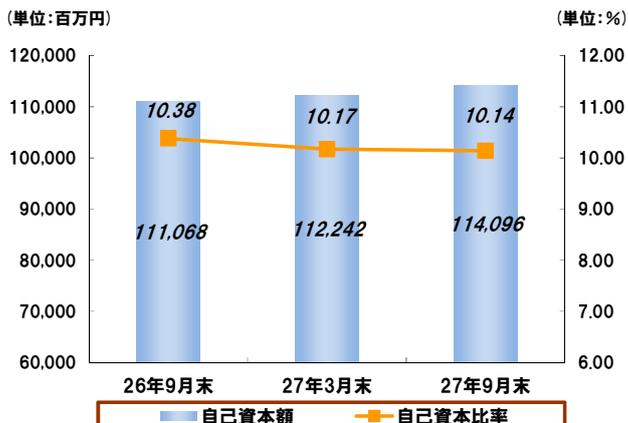


- 経常収益は、貸出利回りの低下により貸出金利息が減少したものの、有価証券利息配当金が増加したことなどから、前年同期比4億78百万円増加の126億75百万円(増減率3.9%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が増加したことや、システム移行に伴う経費の増加があったものの、更なる経費削減に努めた結果、物件費が減少したことなどから、前年同期比5億88百万円増加の28億83百万円(増減率25.6%)となりました。
- 与信関係費用は、一般貸倒引当金の繰入などにより前年同期比4億23百万円増加の8億20百万円となりました。
- この結果、経常利益は前年同期比3億58百万円増加の15億21百万円、中間純利益は前年同期比4億円増加の13億59百万円となりました。

- 経常収益は、有価証券利息配当金や株式等売却益が増加したものの、貸倒引当金戻入益が減少したことなどから、前年同期比66百万円減少の85億9百万円(増減率△0.7%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が増加したことや物件費が減少したことなどから、前年同期比3億80百万円増加の17億11百万円(増減率28.6%)となりました。
- 与信関係費用は、貸倒引当金戻入益が減少したことや、個別貸倒引当金の繰入などにより前年同期比12億78百万円増加の5億29百万円となりました。
- この結果、経常利益は前年同期比5億78百万円減少の13億47百万円、中間純利益は前年同期比9億21百万円減少の12億38百万円となりました。

2. 自己資本比率の状況

① じもとホールディングス連結

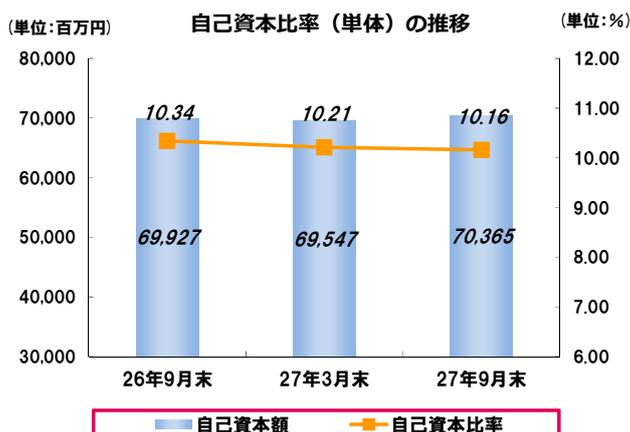


- じもとホールディングスの連結自己資本比率は10.14%となりました。

(単位:%)

	26年 9月末	27年 3月末	27年 9月末	26年 9月末比	27年 3月末比
	連結自己資本比率	10.38	10.17	10.14	△ 0.24

② きらやか銀行

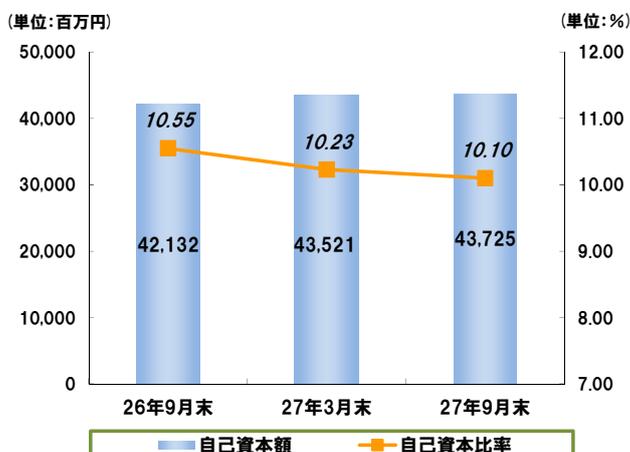


- 単体の自己資本比率は、中間純利益を13億59百万円計上し、自己資本額 (分子) が増加しましたが、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット (分母) が増加したことなどから、26年9月末比0.18ポイント低下の10.16%となりました。

(単位:%)

	26年 9月末	27年 3月末	27年 9月末	26年 9月末比	27年 3月末比
	自己資本比率【単体】	10.34	10.21	10.16	△ 0.18
自己資本比率【連結】	10.41	10.22	10.19	△ 0.22	△ 0.03

③ 仙台銀行



- 自己資本比率は、中間純利益を12億38百万円計上し、自己資本額 (分子) が増加しましたが、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット (分母) が増加したことなどから、26年9月末比0.45ポイント低下の10.10%となりました。

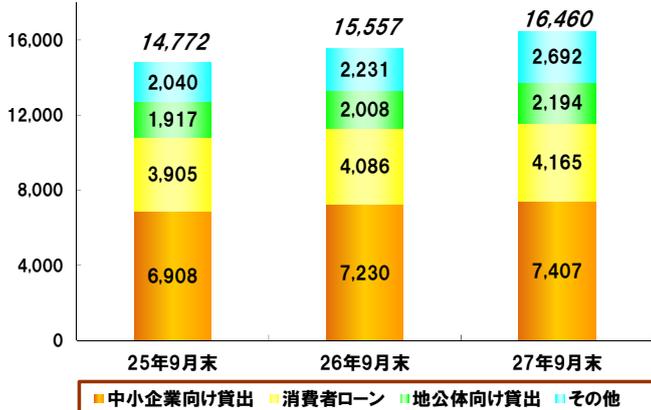
(単位:%)

	26年 9月末	27年 3月末	27年 9月末	26年 9月末比	27年 3月末比
	自己資本比率	10.55	10.23	10.10	△ 0.45

3. 貸出金の状況

① 2行合算

(単位:億円)



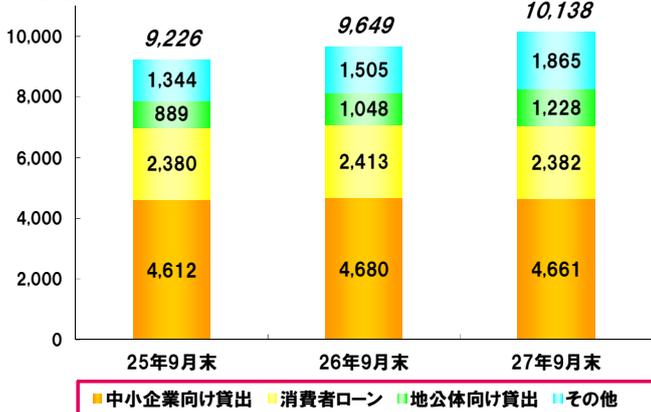
- 2行合算の貸出金残高は、26年9月末比902億49百万円増加の1兆6,460億36百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	26年9月末	27年9月末	26年9月末比	増減率
貸出金(末残)	1,555,787	1,646,036	90,249	5.8
うち中小企業向け貸出残高	723,046	740,799	17,752	2.4
うち消費者ローン	408,698	416,519	7,821	1.9
うち住宅ローン	384,245	385,970	1,725	0.4
うち地方公共団体向け貸出	200,884	219,449	18,565	9.2

② きらやか銀行

(単位:億円)



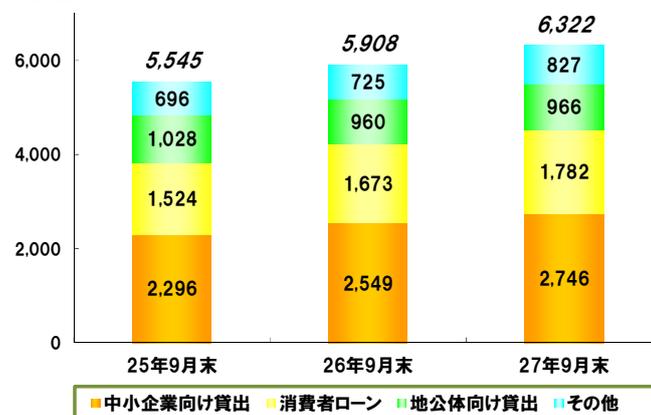
- 貸出金残高は、26年9月末比488億91百万円増加の1兆138億4百万円となりました。
- 中小企業向け貸出は、26年9月末比19億38百万円減少の4,661億55百万円となりました。【統計上の企業規模区分の見直し有】
- 消費者ローンは、住宅ローンの減少により、26年9月末比30億52百万円減少の2,382億94百万円となりました。
- 地方公共団体向け貸出は、26年9月末比179億50百万円増加の1,228億27百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	26年9月末	27年9月末	26年9月末比	増減率
貸出金(末残)	964,913	1,013,804	48,891	5.0
うち中小企業向け貸出残高	468,094	466,155	△ 1,938	△ 0.4
うち消費者ローン	241,346	238,294	△ 3,052	△ 1.2
うち住宅ローン	229,283	226,301	△ 2,981	△ 1.3
うち地方公共団体向け貸出	104,877	122,827	17,950	17.1

③ 仙台銀行

(単位:億円)



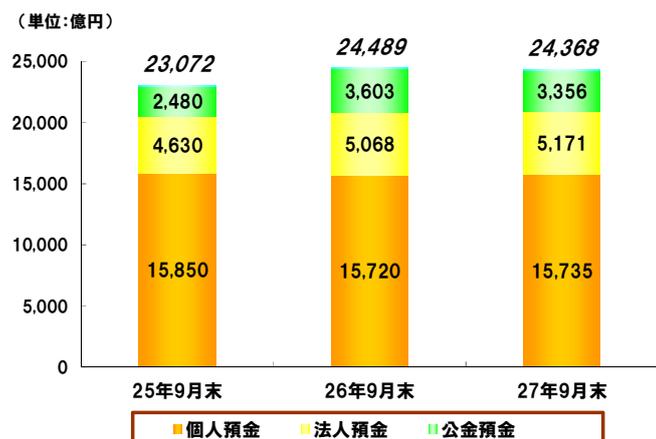
- 貸出金残高は、26年9月末比413億58百万円増加の6,322億31百万円となりました。
- 中小企業向け貸出は、復興支援に係る様々な資金需要への対応により、26年9月末比196億91百万円増加の2,746億43百万円となりました。
- 消費者ローンは、住宅ローンや個人ローンの増加により、26年9月末比108億74百万円増加の1,782億25百万円となりました。
- 地方公共団体向け貸出は、26年9月末比6億15百万円増加の966億22百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	26年9月末	27年9月末	26年9月末比	増減率
貸出金(末残)	590,873	632,231	41,358	7.0
うち中小企業向け貸出残高	254,951	274,643	19,691	7.7
うち消費者ローン	167,351	178,225	10,874	6.5
うち住宅ローン	154,961	159,669	4,707	3.0
うち地方公共団体向け貸出	96,007	96,622	615	0.6

4. 預金（譲渡性預金を含む）の状況

① 2行合算

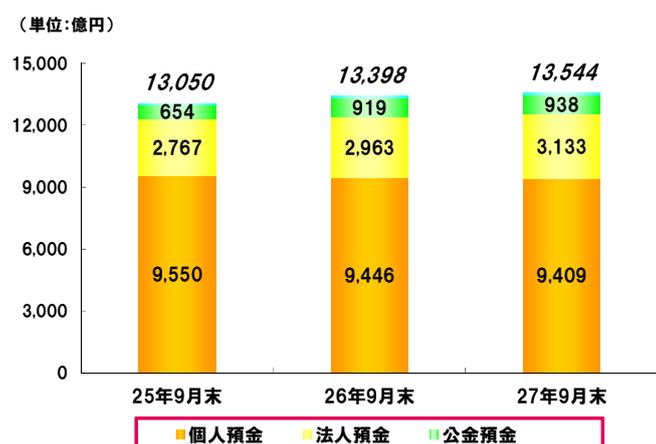


- 2行合算の預金残高は、26年9月末比120億81百万円減少の2兆4,368億51百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	26年9月末	27年9月末	26年9月末比	増減率
預金(譲渡性預金含む)(末残)	2,448,932	2,436,851	△ 12,081	△ 0.4
うち個人預金	1,572,053	1,573,594	1,541	0.0
うち法人預金	506,871	517,133	10,262	2.0
うち公金預金	360,333	335,633	△ 24,700	△ 6.8

② きらやか銀行

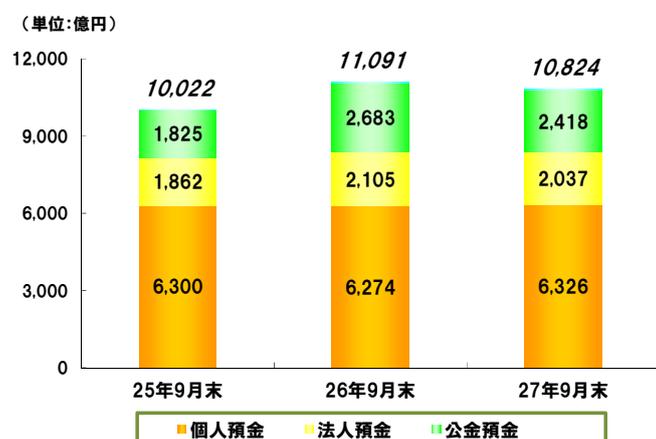


- 預金残高は、法人預金・公金預金が増加したことにより、26年9月末比146億円増加の1兆3,544億3百万円となりました。
- 個人預金は、定期預金が減少したことなどにより26年9月末比37億14百万円減少の9,409億28百万円となりました。
- 法人預金は、流動性・定期性預金ともに大幅に増加したことなどから、26年9月末比169億98百万円増加の3,133億48百万円となりました。
- 公金預金は、26年9月末比18億45百万円増加の938億32百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	26年9月末	27年9月末	26年9月末比	増減率
預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,339,803	1,354,403	14,600	1.0
うち個人預金	944,643	940,928	△ 3,714	△ 0.3
うち法人預金	296,349	313,348	16,998	5.7
うち公金預金	91,987	93,832	1,845	2.0

③ 仙台銀行



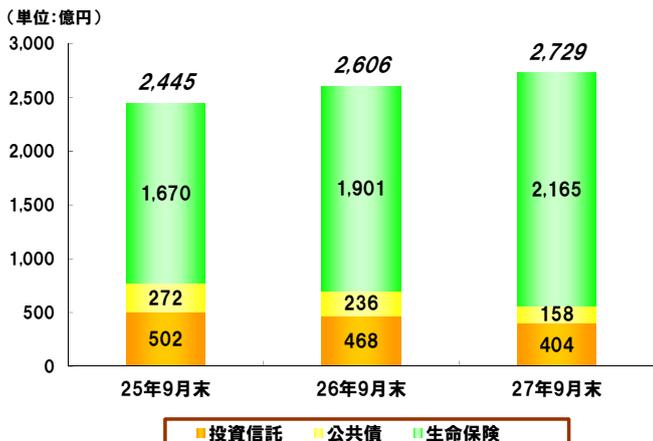
- 預金残高は、公金預金等の減少により、26年9月末比266億81百万円減少の1兆824億47百万円となりました。
- 個人預金は、26年9月末比52億55百万円増加の6,326億66百万円となりました。
- 法人預金は、26年9月末比67億35百万円減少の2,037億85百万円となりました。
- 公金預金は、26年9月末比265億45百万円減少の2,418億1百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	26年9月末	27年9月末	26年9月末比	増減率
預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,109,128	1,082,447	△ 26,681	△ 2.4
うち個人預金	627,410	632,666	5,255	0.8
うち法人預金	210,521	203,785	△ 6,735	△ 3.1
うち公金預金	268,346	241,801	△ 26,545	△ 9.8

5. 預かり資産の状況

① 2行合算



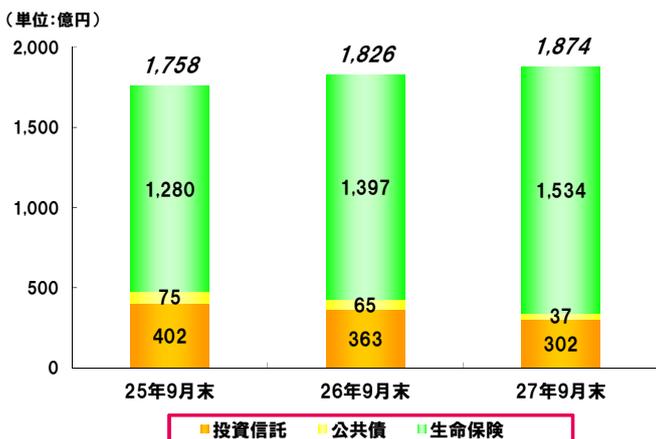
- 2行合算の預かり資産残高は、26年9月比122億67百万円増加の2,729億35百万円となりました。

(単位: 百万円, %)

	26年9月末	27年9月末	26年9月末比	増減率
預かり資産(末残)	260,668	272,935	12,267	4.7
うち投資信託	46,849	40,489	△ 6,360	△ 13.5
うち公共債(国債等)	23,637	15,879	△ 7,758	△ 32.8
うち生命保険	190,180	216,567	26,386	13.8

(注) 生命保険残高は、成約累計残高としており、解約分は考慮しておりません。

② きらやか銀行



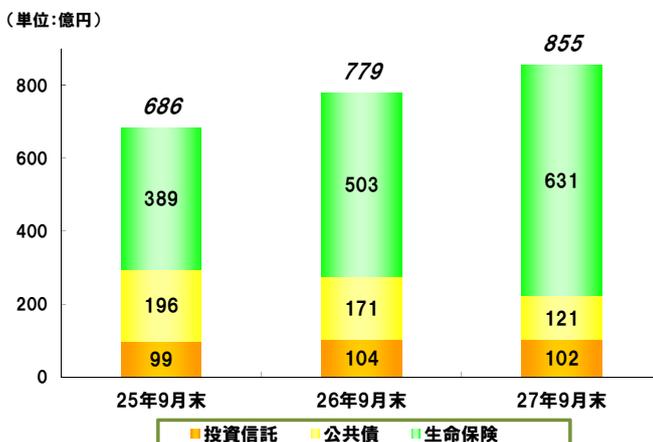
- 預かり資産残高は、26年9月末比47億41百万円増加の1,874億15百万円となりました。
- 投資信託は、26年9月末比61億18百万円減少の302億52百万円となりました。
- 公共債は、26年9月末比27億90百万円減少の37億25百万円となりました。
- 生命保険は、安定志向にあるお客様のニーズが依然高く、販売額が増加したことで、26年9月末比136億50百万円増加の1,534億37百万円となりました。

(単位: 百万円, %)

	26年9月末	27年9月末	26年9月末比	増減率
預かり資産(末残)	182,674	187,415	4,741	2.5
うち投資信託	36,371	30,252	△ 6,118	△ 16.8
うち公共債(国債等)	6,516	3,725	△ 2,790	△ 42.8
うち生命保険	139,786	153,437	13,650	9.7

(注) 生命保険残高は、成約累計残高としており、解約分は考慮しておりません。

③ 仙台銀行



- 預かり資産残高は、26年9月末比75億26百万円増加の855億19百万円となりました。
- 投資信託は、26年9月末比2億41百万円減少の102億36百万円となりました。
- 公共債は、26年9月末比49億68百万円減少の121億53百万円となりました。
- 生命保険は、お客様の保険運用ニーズが依然として高く、26年9月末比127億35百万円増加の631億29百万円となりました。

(単位: 百万円, %)

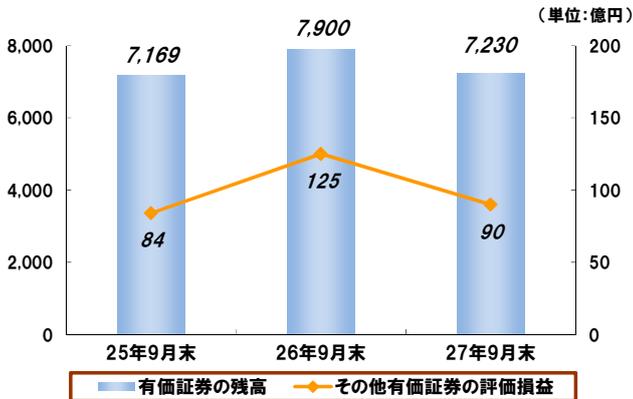
	26年9月末	27年9月末	26年9月末比	増減率
預かり資産(末残)	77,993	85,519	7,526	9.6
うち投資信託	10,478	10,236	△ 241	△ 2.3
うち公共債(国債等)	17,121	12,153	△ 4,968	△ 29.0
うち生命保険	50,393	63,129	12,735	25.2

(注) 生命保険残高は、成約累計残高としており、解約分は考慮しておりません。

6. 有価証券の状況

① 2行合算

- 2行合算の有価証券残高は、26年9月末比670億32百万円減少の7,230億22百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、26年9月末比34億18百万円減少し、90億93百万円の評価益となりました。



①有価証券の残高

(単位:百万円、%)

	26年9月末	27年9月末	26年 9月末比	増減率
有 価 証 券	790,054	723,022	△ 67,032	△ 8.4
国 債	250,382	257,283	6,900	2.7
地 方 債	108,117	87,292	△ 20,825	△ 19.2
社 債	315,953	225,525	△ 90,427	△ 28.6
株 式	20,590	15,327	△ 5,262	△ 25.5
そ の 他 証 券	95,010	137,592	42,582	44.8

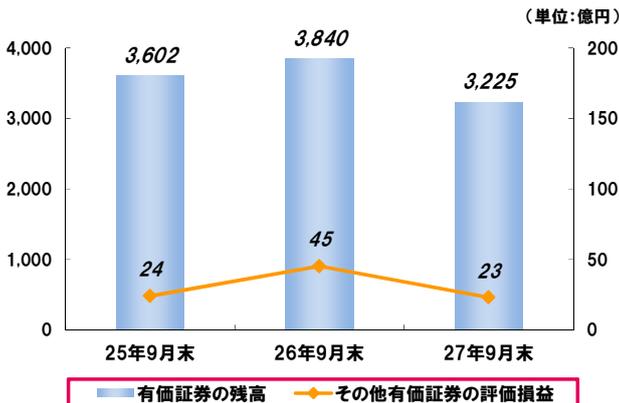
②その他有価証券の評価損益

(単位:百万円)

	26年9月末	27年9月末	26年 9月末比
そ の 他 有 価 証 券	12,511	9,093	△ 3,418
株 式	4,163	5,568	1,405
債 券	7,675	8,065	390
そ の 他	673	△ 4,540	△ 5,213

② きらやか銀行

- 有価証券残高は、債券運用ポートフォリオの見直しを実施したことにより、26年9月末比614億17百万円減少の3,225億96百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、26年9月末比22億円減少し、23億56百万円の評価益となりました。



①有価証券の残高

(単位:百万円、%)

	26年9月末	27年9月末	26年 9月末比	増減率
有 価 証 券	384,014	322,596	△ 61,417	△ 15.9
国 債	126,996	135,077	8,080	6.3
地 方 債	30,168	10,369	△ 19,798	△ 65.6
社 債	149,420	79,204	△ 70,216	△ 46.9
株 式	11,596	6,249	△ 5,347	△ 46.1
そ の 他 証 券	65,831	91,695	25,863	39.2

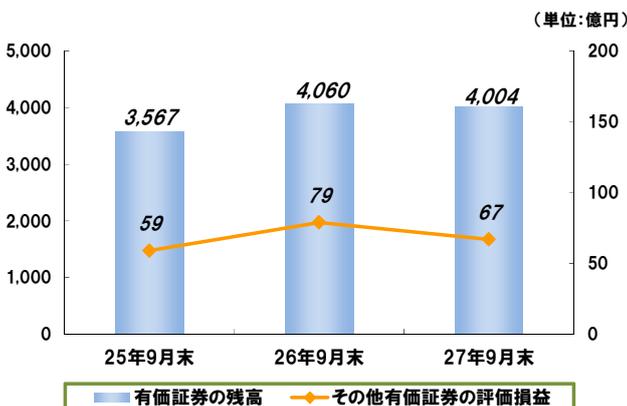
②その他有価証券の評価損益

(単位:百万円)

	26年9月末	27年9月末	26年 9月末比
そ の 他 有 価 証 券	4,556	2,356	△ 2,200
株 式	920	1,366	445
債 券	3,345	3,664	319
そ の 他	290	△ 2,674	△ 2,965

③ 仙台銀行

- 有価証券残高は、保有していた債券の償還などにより、26年9月末比56億14百万円減少の4,004億25百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、26年9月末比12億18百万円減少し、67億36百万円の評価益となりました。



①有価証券の残高

(単位:百万円、%)

	26年9月末	27年9月末	26年 9月末比	増減率
有 価 証 券	406,039	400,425	△ 5,614	△ 1.3
国 債	123,386	122,205	△ 1,180	△ 0.9
地 方 債	77,949	76,922	△ 1,026	△ 1.3
社 債	166,532	146,321	△ 20,211	△ 12.1
株 式	8,993	9,078	85	0.9
そ の 他 証 券	29,178	45,896	16,718	57.2

②その他有価証券の評価損益

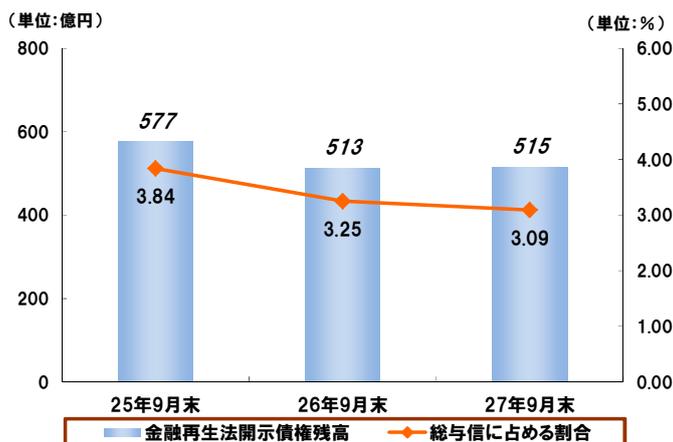
(単位:百万円)

	26年9月末	27年9月末	26年 9月末比
そ の 他 有 価 証 券	7,954	6,736	△ 1,218
株 式	3,242	4,201	959
債 券	4,329	4,400	71
そ の 他	382	△ 1,865	△ 2,248

(注) その他有価証券の評価については、決算日の市場価格に基づいております。

7. 金融再生法開示債権の状況

① 2行合算



- 2行合算の金融再生法開示債権残高（要管理債権以下の合計額）は、26年9月末比1億56百万円増加の515億4百万円となりました。
- 総与信額に対する比率は、26年9月末比0.16ポイント低下の3.09%となりました。
- 2行合算の金融再生法開示債権の保全率は、84.34%となりました。

①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

	26年9月末	27年9月末	26年9月末比	
			26年9月末比	27年9月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	6,540	3,685	Δ 2,854	
危険債権	40,481	42,827	2,345	
要管理債権	4,324	4,990	665	
合計 (A)	51,347	51,504	156	
正常債権	1,526,788	1,615,013	88,225	
総与信額 (B)	1,578,135	1,666,517	88,382	
(A / B)	3.25	3.09	Δ 0.16	

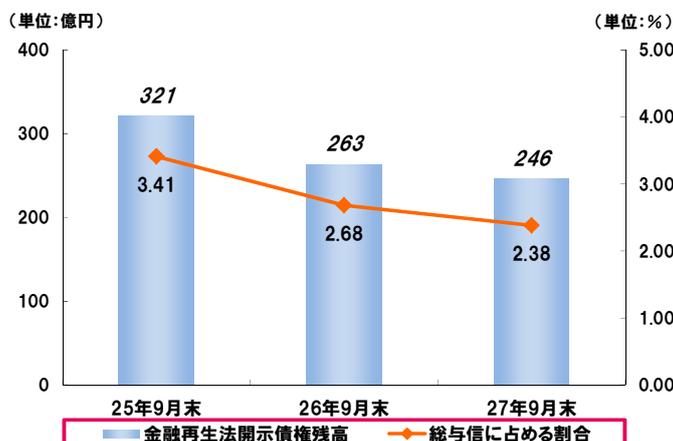
②金融再生法開示債権の保全状況(27年9月末) (単位:百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	保全率 (B/A)		
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,685	3,685	2,587	1,098	100.00
危険債権	42,827	38,412	29,718	8,694	89.69
要管理債権	4,990	1,343	874	469	26.92
合計	51,504	43,442	33,180	10,261	84.34

【参考】26年9月末 (単位:百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	保全率 (B/A)		
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	6,540	6,540	3,612	2,927	100.00
危険債権	40,481	36,186	30,003	6,183	89.38
要管理債権	4,324	1,226	820	406	28.36
合計	51,347	43,953	34,436	9,517	85.60

② きらやか銀行



- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、26年9月末比17億50百万円減少の246億22百万円となりました。
- 総与信額に対する比率は、26年9月末比0.30ポイント低下の2.38%となりました。
- 金融再生法開示債権の保全率は、74.85%となりました。

①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

	26年9月末	27年9月末	26年9月末比	
			26年9月末比	27年9月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,406	2,029	Δ 2,377	
危険債権	18,857	19,572	714	
要管理債権	3,108	3,020	Δ 87	
合計 (A)	26,372	24,622	Δ 1,750	
正常債権	957,186	1,006,275	49,089	
総与信額 (B)	983,559	1,030,897	47,338	
(A / B)	2.68	2.38	Δ 0.30	

②金融再生法開示債権の保全状況(27年9月末) (単位:百万円、%)

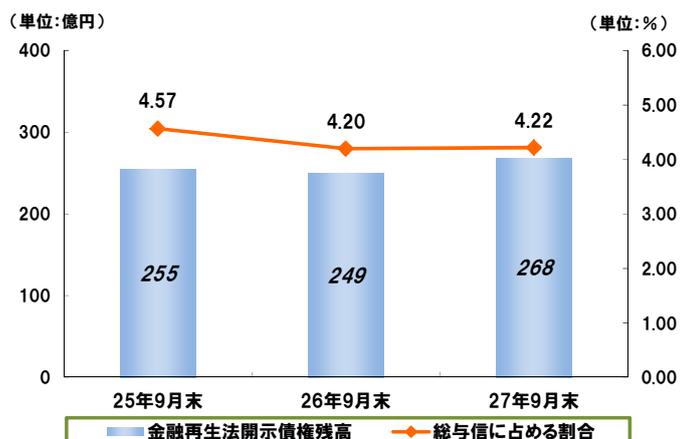
	債権額 (A)	保全額 (B)	保全率 (B/A)		
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,029	2,029	1,500	529	100.00
危険債権	19,572	15,864	11,588	4,276	81.05
要管理債権	3,020	537	211	325	17.78
合計	24,622	18,430	13,300	5,130	74.85

【参考】26年9月末 (単位:百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	保全率 (B/A)		
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,406	4,406	2,253	2,153	100.00
危険債権	18,857	15,209	11,996	3,213	80.65
要管理債権	3,108	475	199	275	15.28
合計	26,372	20,091	14,449	5,641	76.18

7. 金融再生法開示債権の状況

③ 仙台銀行



- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、26年9月末比19億7百万円増加の268億81百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、26年9月末比0.02ポイント上昇の4.22%となりました。
- 金融再生法開示債権の保全率は、93.04%となりました。

①金融再生法開示債権残高

(単位:百万円、%)

	26年9月末	27年9月末	26年 9月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,133	1,656	△ 476
危険債権	21,624	23,255	1,631
要管理債権	1,216	1,970	753
合計 (A)	24,974	26,881	1,907
正常債権	569,602	608,738	39,135
総与信額 (B)	594,576	635,619	41,043
(A / B)	4.20	4.22	0.02

②金融再生法開示債権の保全状況(27年9月末)

(単位:百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	担保保証等		貸倒引当金	保全率 (B/A)
			担保保証等	貸倒引当金		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,656	1,656	1,087	569	100.00	
危険債権	23,255	22,548	18,130	4,417	96.95	
要管理債権	1,970	806	662	144	40.95	
合計	26,881	25,011	19,880	5,131	93.04	

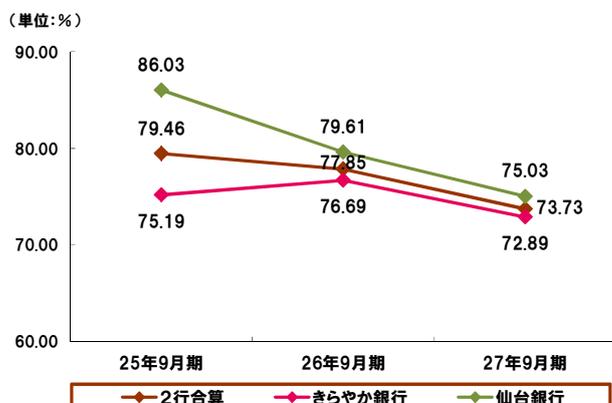
【参考】26年9月末

(単位:百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	担保保証等		貸倒引当金	保全率 (B/A)
			担保保証等	貸倒引当金		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,133	2,133	1,359	774	100.00	
危険債権	21,624	20,976	18,006	2,970	97.00	
要管理債権	1,216	751	620	131	61.77	
合計	24,974	23,861	19,986	3,875	95.54	

8. 経営指標

- 2行合算のコアOHR（債券関係損益を除く）は、26年9月末比4.12ポイント改善し、73.73%となりました。



(単位:%)

		25年9月期	26年9月期	27年9月期	25年9月期比	26年9月期比
コアOHR	2行合算	79.46	77.85	73.73	△ 5.73	△ 4.12
	きらやか銀行	75.19	76.69	72.89	△ 2.30	△ 3.80
	仙台銀行	86.03	79.61	75.03	△ 11.00	△ 4.58

9. 平成28年3月期 業績予想及び配当方針

① じもとホールディングスの連結業績予想及び配当方針

- じもとホールディングスの平成28年3月期の連結業績予想は、経常利益36億円、親会社株主に帰属する当期純利益35億円を見込んでおります。
- じもとホールディングスの平成28年3月期の中間配当金は、1株あたり2円50銭をお支払いいたします。また、期末配当金は、1株あたり2円50銭を予定しております。

(単位:百万円)

	28年3月期	(参考) 27年3月期	基準日	中間	期末	年間
経常利益	3,600	6,751	配当予想	2円50銭	2円50銭	5円00銭
親会社株主に 帰属する当期純利益	3,500	5,986	(参考)27年3月期	2円50銭	2円50銭	5円00銭

② 子銀行の個別業績予想

- きらやか銀行単体ベースでは、経常利益19億円、当期純利益17億円を見込んでおります。
- 仙台銀行単体ベースでは、経常利益17億円、当期純利益15億円を見込んでおります。

きらやか銀行

(単位:百万円)

	28年3月期	(参考) 27年3月期
経常利益	1,900	3,392
当期純利益	1,700	2,337

仙台銀行

(単位:百万円)

	28年3月期	(参考) 27年3月期
経常利益	1,700	3,228
当期純利益	1,500	3,376